

## 千五百石船「宝順丸」レプリカの出航式について

(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団の設立30周年を記念して作成され、県庁2号館1階に展示されていた、江戸時代末期の廻船「宝順丸」のレプリカの出航式を下記のとおり行います。

### 記

- 1 日 時 平成18年4月18日(火) 11:15～11:35
- 2 会 場 県庁2号館1階ロビー
- 3 内 容 あいさつ(井戸連盟長(知事))  
クス玉割(山田理事長、藤原県民政策部長)  
斧による支柱ロープの切断(井戸連盟長(知事))  
記念撮影
- 4 出席者 湊 隆司 氏(兵庫の匠) 赤穂市文化財選定保存技術(和船建造)保持者  
〔日本ボーイスカウト兵庫連盟〕  
井戸敏三 連盟長(知事)  
山田知輝 理事長  
武貞健治 事務局長  
〔(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団〕  
濱田耕次 事務局長  
島村政市 事務局次長  
〔兵庫県〕  
藤原正治 県民政策部長  
山本亮三 県民文化局長  
横山佐和子 青少年課長
- 5 マカ族文化研究センターへの「宝順丸」レプリカ贈呈について
  - ・平成18年6月9～18日 15名程度編成の派遣団による訪米
  - ・平成18年6月14日 マカ族文化研究センターにて贈呈式典を開催

### 「宝順丸」のレプリカについて

#### 〔制作の経緯〕

当レプリカは、(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団(理事長:鬼塚喜八郎氏)が、兵庫の匠であり、船大工の湊隆司氏に制作を依頼したものである。

#### 〔サイズ〕

実物の1/11分の1。

全長2.13m、船幅0.6m、帆柱高1.9m。

### 【担当・問い合わせ先】

県民政策部青少年課 TEL 078-362-9076



【宝順丸（レプリカ）】

## 「宝順丸」レプリカの引渡しについて

日本ボーイスカウト兵庫連盟

(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団の設立30周年を記念して作成された、江戸時代末期の廻船「宝順丸」のレプリカが、同財団から日本ボーイスカウト兵庫連盟(連盟長 井戸 敏三知事)に引き渡されます。

このレプリカは1932年にアメリカに漂着した3人の青年水夫の活躍を讃えて作成されたもので、来年の3月にワシントン州のマカ族文化研究センターに寄贈されますが、それまでの間は県庁2号館1階にて展示されます。

### 記

#### 1 趣旨

- (1) 兵庫県・ワシントン州姉妹提携25周年の年である平成元年に、ボーイスカウト兵庫連盟より「三吉顕彰記念石碑」をフォート・バンクーバー国立史蹟公園に贈呈・建立した。
- (2) 平成17年、日本ボーイスカウト兵庫連盟の活動を支援する(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団が設立30周年にあたり、「宝順丸」のレプリカを作成し、ボーイスカウト兵庫連盟に寄贈する。
- (3) 寄贈を受けたレプリカについては、兵庫県・ワシントン州姉妹提携及び日米ボーイスカウト国際交流の第2のシンボルとして、ワシントン州にあるマカ族文化研究センターにボーイスカウト兵庫連盟より再寄贈する(H18.3月末を予定)。

#### 2 財団から兵庫連盟への引き渡し式

##### (1) 日時

平成17年10月4日(火) 13:00 ~ 13:25

##### (2) 会場

知事応接室

(記念撮影については、2号館1階渡り廊下に展示中の「宝順丸」レプリカ前で行います。)

##### (3) 出席者

| 贈呈者               |        |   |       | 受贈者           |    |  |
|-------------------|--------|---|-------|---------------|----|--|
| (財)兵庫県ボーイスカウト振興財団 |        |   |       | 日本ボーイスカウト兵庫連盟 |    |  |
| 理事長               | 鬼塚 喜八郎 | 氏 | 連盟長   | 井戸 敏三         | 知事 |  |
| 常務理事              | 宇賀 芳樹  | 氏 | 副連盟長  | 日下 孝明         | 氏  |  |
| 理事                | 佐野 哲也  | 氏 | 国際委員長 | 堤 正           | 氏  |  |
| 事務局長              | 濱田 耕次  | 氏 | 事務局長  | 武貞 建治         | 氏  |  |
| 事務次長              | 島村 政市  | 氏 |       |               |    |  |

##### (4) 日程

- 13:00 (引渡し式)  
(財)兵庫県ボーイスカウト振興財団 鬼塚理事長から、  
日本ボーイスカウト兵庫連盟 井戸連盟長に目録贈呈  
(知事応接室)
- 13:20 (記念撮影)  
2号館1階渡り廊下に展示中のレプリカ前で、記念撮影
- 13:25 終了

【連絡先】日本ボーイスカウト兵庫連盟 事務局長 武貞 建治

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3

TEL (078)-360-8578 FAX (078)-360-8571

〔県庁所管課〕 県民政策部県民文化局青少年課

〔担当〕: 主幹兼企画調整係長 清見 昌功(内線 2743)

## 【参考】

### 「宝順丸」と「三吉」について

1832年、米、陶器などを積み、鳥羽から江戸へ向かった廻船「宝順丸」は、暴風雨にあい遭難。14ヵ月間の漂流の後、14人の乗組員のうち3人の青年水夫（岩吉、久吉、音吉。いずれも“吉”という字がつくことから三吉と言われる。）だけが、アメリカ西海岸（現在のワシントン州西北端ケープアラバ付近）に漂着し、初めてアメリカの地を踏んだ日本人となった。この地で、インディアン先住民マカ族に保護された3人は、貿易商人らとイギリスに渡り、日本開国交渉のときのイギリス側の通訳などとして活躍したが、江戸幕府の鎖国政策のため、祖国日本に戻ることは最後までできなかった。

この不屈の精神力で、困難な時代を生き抜いた「三吉」の史実を伝え、知らしめることは、今日、飽食の時代に生きる青少年の健全育成に寄与するものである。

### 「ボーイスカウト」と「三吉」について

「三吉」は、ボーイスカウトの年代で、14ヶ月にわたり太平洋を漂流して生き抜き、望郷の念にかられながらも世界を回り再び日本の土を踏むことがなかった。

その不屈の精神力と忍耐力、そして国際理解を身につけていった三吉の史実を知らしめることは、飽食の時代に生まれ育った青少年の育成に大きく寄与し、ボーイスカウトリーダーとしてのライフワークと呼べるものであると考え、兵庫連盟としては、先に三吉顕彰記念石碑を建立贈呈した経緯も踏まえ（ ）この度、三吉が乗船していた「宝順丸」のレプリカを贈呈することとしたものである。

平成元年に兵庫連盟からアメリカ市民（フォート・バンクーバー史蹟公園）へ建立贈呈（平成元年は、兵庫県ワシントン州姉妹提携25周年、ワシントン州建州100年を記念する事業が展開されるとともに、アメリカでは、「三吉の物語」が取り上げられており、日系米人市民協会の企画により、同協会から三吉顕彰記念石碑を建立贈呈して欲しいとの要望が兵庫連盟に出されたもの）

### マカ族文化研究センターとレプリカ寄贈について

マカ族文化研究センターは、ワシントン州ニア・ベイにあり、失われつつあるマカ族の文化、生活習慣等を後の世代に伝えることを目的とした博物館である。3人の青年水夫が、予期せぬ逆境にもめげず国際人として活躍できたのも、マカ族の行動に寄るところが大であることから、史実に則りマカ族への感謝と友愛を「宝順丸」のレプリカに託し、寄贈することとしたものである。